

## 空と緑の西新

今年7月末、私たちの青春、西新の憩いの場、西新プラリバ(旧岩田屋)が惜しまれつつも閉店しました。

現在公開されている情報によると、30階建て(約100メートル)の高層ビルになる予定となっています。やはり心配なのは、西新の町の雰囲気によく似たような異質なものにならないか、集客に期待ができるのか、ということです。

そこで、新しくありながら、でも西新周辺の皆さんをはじめ、幅広い年代・多くの方に親しみを持っていただける西新ビル(仮)の姿を想像していきたいと思います。

ご存じの方も多いかと思いますが、プラリバの1階正面玄関前に、お花屋さんがありました。店長さんは気さくなやさしい方で、ガーデニングについての相談にやさしく答えてくださいました。また、季節のお花をいつも細やかにしいれていたのも、正面玄関はとて華やかでした。

その雰囲気を忘れないために、今後も正面玄関に季節の花をプランタに植えて飾っていたきたいと思います。夏には暑さ対策のために、緑のゴーヤなどの緑のカーテンと霧状の水のカーテンを設置し、お客さんと地面を冷やすのはどうでしょうか。

西新ビルは現在の予定では、30階建ての高層ビルになる予定です。高い建物というのは、なかなか威圧感があります。特に、西新は高層の建物がまだ少ない地域です。

そのイメージを和らげ、屋上まで足を延ばしたくなるようにしたいと思います。高さを利用し、屋上を展望台にします。圧迫感を無くすために天井をドーム状のガラス張り温室風にしたいと思います。内装は、温室をイメージし、植物を多く植えます。そして、屋上敷地の半分にオープンカフェを併設します。飲食物の注文は、カウンターで行い、お客さんは展望席へ行き西新の景色を眺めたり、庭園にうえられた緑をゆったり眺めたりと、思い思いの時間をゆっくりと過ごすことができます。空間を生かすため、仕切り壁は設置しません。

休日には、一部のスペースを使い植物に関するものや、ビル内のお店主催の手芸などのワークショップを開催します。以前のプラリバのカフェには、ご年配の方が多く利用されていましたし、手芸などのワークショップに幅広い年代の方が参加できる心身が休まり楽しめる場所になることを期待します。お店の宣伝と、お客さんとお店の距離を縮め、親しみを持てる関係づくりにもつながると思います。

残りの屋上の半分を、子供たちが遊べるスペースにします。最近では、子供たちが安心して遊べる場所が減りました。幼い子供を連れて人ごみの中を買い物することも苦労が多いようです。

ここで、保育士や監視員に子供たちを預けて、お母さんたちが安心して西新ビル内で買い物をすることができます。また、ママ友とカフェでお茶をしながら子供たちが遊ぶ姿を見守ることができます。

こちらでも、休日は、紙芝居の読み聞かせ、工作や自然などを学べるミニ教室を開きます。

夏休みや冬休みには、学芸員の方をお呼びして、星見会をします。夏祭りの日には、西花火鑑賞会をするとよいと思います。参加者は、子供を持つ家族を優先し、抽選で招待を行えば混雑・混乱を避けられると思います。

高さを生かし、子供たちに遊びと学びの場を作ることができたらと考えます。子供のころから親しむことで、西新ビル、そして、西新の地域を愛する気持ちが芽生えるのではないかと考えます。

幅広い世代が集まることで、西新ビルだけが潤うだけでなく、西新周辺が賑わうことも期待できるのではないかと思います。

西新ビルが、目新しいだけの商業・高層マンションではなく、子供から年配の方まで世代を問わず、多くの方が集う、新しい憩いの場、思い出作りの場になることを願っています。

ありがとうございました。

